

被害木現地誘導システム使用機材の変更について

マニュアル本体で被害木現地誘導システム（ナビゲーション機）として使用している「マイタック社 Mio Digiwalker P560（マニュアル 81 ページ）」は、2009年5月時点で製造中止となっていることが判明しました。この冊子では、代替機種で現地誘導ソフトウェア PhotoNAVI を使うための方法について説明します。

被害木情報管理ソフトウェア PhotoDISP は従来通り使用できます。ただし、配布 CD に集録のものからバージョンアップされ、以下の機能が追加されています。ご興味のある方は下記までご連絡下さい。

PhotoDISP ver.1.65 の主な追加機能

①シェープファイルに対応

被害木情報ファイルをシェープファイルに変換する機能がつけました。

逆にシェープファイルから被害木情報ファイルに変換することもできます。

（ファイルメニュー → 変換 → 被害木情報ファイル⇄シェープファイル）

②緯度経度のオルソフォトに対応

今までは平面直角座標のオルソフォトだけ対応しておりましたが、緯度経度の画像からでもオルソフォトレイヤーを作成できるようになりました。

担当：中村克典
森林総合研究所東北支所
〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 92-25
電話：019-648-3962 / FAX：019-641-6747
E-Mail：knakam@ffpri.affrc.go.jp

6.2 PhotoNAVI を使う／1)使用機材と周辺機器／(1)PDA 本体(マニュアル P81)

この部分の内容を以下に差し替えて下さい。また、以降の本文中の「Mio P560」を適宜読み替えて下さい。

—*—*—*—*—*—

OS（基本ソフト）に WindowsMobile6 を搭載した GPS 内蔵 PDA（マイタック社 Mio Digiwalker P560 を推奨、ただし生産中止）、または**同 OS 搭載の Bluetooth 対応 PDA（ヒューレット・パカード社 iPAQ 112 Classic Handheld を推奨、以下 iPAQ112 と略）に外部 GPS レシーバー（下記参照）を併用**して使用します。

iPAQ112+外部 GPS レシーバーを使用するには、機器の説明書に従ってまず GPS レシーバーを Bluetooth 機器として登録するための設定を行って下さい。その上で、

①PhotoNAVI の GPS 設定で COM ポートを「COM6」に設定

②OS の設定→外付け GPS→アクセス→「GPS を自動的に管理する」のチェックを外す

の2点を確認して下さい（本冊子 4～5 ページ参照）。

★PDA 本体：ヒューレット・パカード iPAQ 112

http://h50146.www5.hp.com/products/handhelds/pocketpc/112classic_handheld/

★外部 GPS レシーバー

○PhotoMate 887（Bluetooth GPS）

<http://www.transystem.jp/product/photomate887.html>

○BT-Q1300S（Bluetooth GPS）

http://www.gpsdgps.com/product/pr_q1300s.htm

○M-241（Bluetooth GPS）

<http://www.pdakobo.com/review/M-241/>

—*—*—*—*—*—

6.2 PhotoNAVI を使う／1)使用機材と周辺機器／(3)外部アンテナ(マニュアル P81)

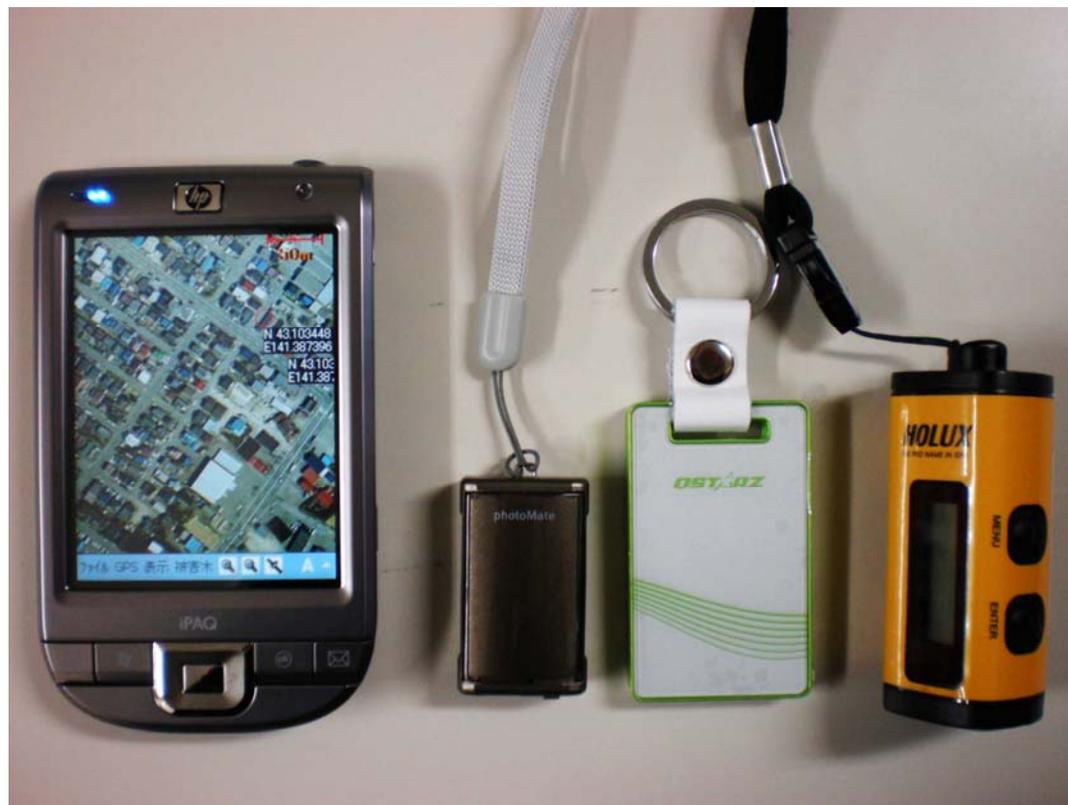
外部 GPS レシーバーを使うのであれば、アンテナは不要です。

6.2 PhotoNAVI を使う／※PDA に PhotoNAVI を導入する／(5)GPS の設定(マニュアル P90)

本冊子 4～6 ページと差し替えて下さい。

6.3 PhotoNAVI を使った被害木確認作業の実際／2)外部アンテナの接続(マニュアル P95～96)

外部 GPS レシーバーを使う場合には、レシーバー本体を上空が遮断されにくい場所に保持するようにして下さい。



左：PDA 本体：ヒューレット・パッカード iPAQ 112

右：外部 GPS レシーバー（3種類）

(5) GPS の設定

PhotoNAVI の GPS 受信設定を行います。

※ PDA が HP iPAQ 112 Classic Handheld の場合は PDA の外付け GPS の設定を行います。

---HP iPAQ 112 Classic Handheld の場合---

- ① 「スタート」メニューをタッチします
- ② 「設定」をタッチします。
- ③ 画面下の「システム」のタブをタッチします。



- ④ 「外付けGPS」をタッチします。
- ⑤ 画面下の「アクセス」のタブをタッチします。
- ⑥ 「GPS を自動的に管理する（推奨）」のチェックを外します。



- ⑦ 最後に画面右上の「OK」ボタンをタッチし設定完了です。

ここからは全ての PDA で必要な設定方法です。

- ① 「スタート」メニューで「PhotoNAVI」を選択し、起動します。



- ② 「GPS」メニューを押します。

- ③ 「GPS 設定」を選択します。



- ④ GPS の設定を行います。各項目下記の値を選択して下さい。

「Com ポート選択」→COM2

※PDA が HP iPAQ 112 Classic Handheld の場合

「Com ポート選択」→COM6

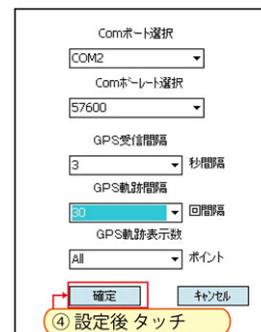
「Com ポートレート選択」→57600

「GPS 受信間隔」→3 秒間隔

「GPS 航跡間隔」→30 回間隔

「GPS 航跡表示数」→A11 ポイント

最後に「確定」ボタンを押します。



HP iPAQ 112 Classic Handheld

HP iPAQ 112 Classic Handheld

無線LANとBluetooth®内蔵の
高性能&スタイリッシュなPDA(携帯情報端末)



製品特長

- ▶アプリケーション
- ▶モデル一覧(法人向け)
- ▶モデル一覧(個人向け)
- ▶スペック
- ▶オプション
- ▶Virtual Experience

HP Directplus 価格

¥32,550(税込)~

オンラインでご購入(法人のお客様) >>

オンラインでご購入(個人のお客様) >>

高性能&スタイリッシュなPDA(携帯情報端末)

従来ハイエンドモデルに搭載されていたMarvell® PXA310 624MHz プロセッサを採用、メモリをROM256MBとRAM64MBにし、ユーザの使用領域を増やすなど基本性能を高めました。3.5インチの半透過型タッチスクリーン液晶とLEDバックライトの採用により、見やすい画面で簡単に操作が可能。薄さわずか13.6mm、軽さわずか114.6gと手になじむ小型軽量でスタイリッシュなフォルムはPDAの可能性を広げ、活躍の場を選びません。



Microsoft® Windows Mobile® 6 Classic搭載

スマートフォンなどに全世界で採用されているOS、Microsoft® Windows Mobile® 6のClassicエディションを搭載。前バージョンに比べ、よりPDAとしての利便性やセキュリティ向上を果たしました。



Microsoft® Office MobileやInternet Explorer® Mobile、Windows Media® Player MobileなどOS標準のアプリケーションによって、ノートPCや携帯マルチメディア端末に匹敵する機能を提供しています。またiPAQ特有に、ClearVue PDFやHP Photosmart Mobileなどのアプリケーションを搭載していますので、より使いやすくなっています。

▶ Microsoft® Windows Mobile® 6 Classic 機能詳細はこちら

ヒューレットパッカー社ホームページより

http://h50146.www5.hp.com/products/handhelds/pocketpc/112classic_handheld/